

2019年9月30日
南海電気鉄道株式会社

安全報告書の訂正について（お詫びとご報告）

2015年6月16日に発生し近畿運輸局に報告を行った事象について、2016年度の安全報告書にインシデントとして記載されていなかったことが判明しました。つきましては、以下の通り安全報告書を訂正いたします。

<2016年度>

2016年度の安全報告書におけるインシデント発生状況（p.31）について、以下の通り訂正いたします。

誤：2015年度は発生していません。

正：2015年度は1件発生し、近畿運輸局に報告しました。

詳細は別紙1をご参照ください。

<2017年度、2018年度>

2017年度、2018年度の安全報告書における「5年間の事故の件数」を示したグラフ（2017年度はp.37、2018年度はp.38）内のインシデント件数を、2015年度に1件発生したとして訂正いたします。

詳細は別紙2、3をご参照ください。

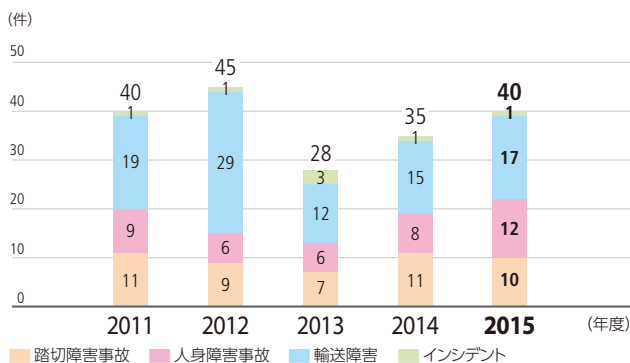
以 上

鉄道運転事故・輸送障害・インシデントの発生状況

最近5年間の発生状況

国土交通省へ報告することが定められている鉄道運転事故等の最近5年間の発生状況は、次の通りです。

5年間の事故の件数



〈参考〉鉄道運転事故等の分類

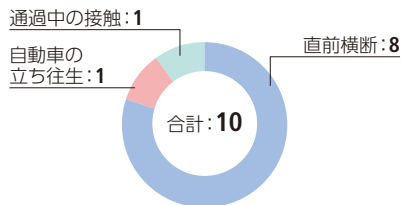
鉄道運転事故	重大事故	列車衝突事故	列車が他の列車もしくは車両と衝突、または接触した事故
		列車脱線事故	列車が脱線した事故
		列車火災事故	列車に火災が生じた事故
	踏切障害事故	踏切道において、列車もしくは車両が道路を通行する人もしくは車両等と衝突、または接触した事故	
	人身障害事故	列車または車両の運転により人の死傷を生じた事故(上記の事故に伴うものを除く)	
	輸送障害	鉄道運転事故以外で列車に遅延や遅れ(30分以上)が発生した事態	
	インシデント	事故には至っていないが、鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態	

2015年度の発生状況

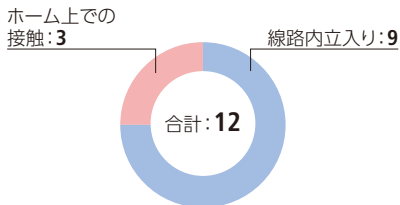
重大事故

2015年度は発生していません(最近5年間はありせん)

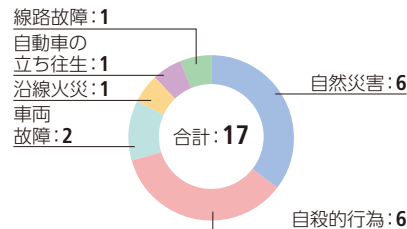
踏切障害事故



人身障害事故



輸送障害



インシデント

2015年度は1件発生し、近畿運輸局に報告しました。

6000系車両の台車にき裂が発生

(1) 発見日時

2015年6月16日 15時頃

(2) 状況

6000系車両の全般検査時に、台車製造メーカーによる台車枠補強工事を実施した際、メーカーによる目視検査において、台車の同一軸ばね座に150mm、80mm、60mm、40mmのき裂を発見しました。

(3) 原因

台車枠を製造した際の溶接不良箇所を起点として、き裂に至ったものです。

(4) 対策

同形式台車について目視による一斉点検を実施し、ほかの車両にはき裂がないことを確認しました。また、同形式台車について超音波探傷検査を実施した結果、安全を脅かすような溶接不良箇所はありませんでした。



台車のき裂発生場所

行政指導等

2015年7月28日から31日の4日間にわたり、近畿運輸局の保安監査を受けました。

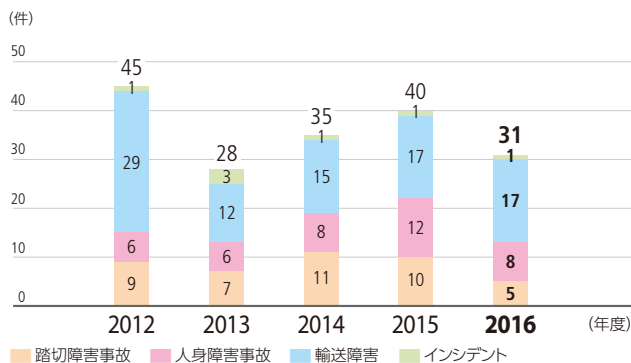
その結果、当社への改善指示事項はありませんでした。

鉄道運転事故・輸送障害・インシデントの発生状況

最近5年間の発生状況

国土交通省へ報告することが定められている鉄道運転事故等の最近5年間の発生状況は、次の通りです。

5年間の事故の件数



〈参考〉鉄道運転事故等の分類

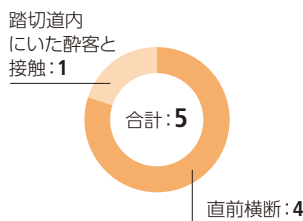
重大事故	列車衝突事故	列車が他の列車もしくは車両と衝突、または接触した事故
	列車脱線事故	列車が脱線した事故
	列車火災事故	列車に火災が生じた事故
鉄道運転事故	踏切障害事故	踏切道において、列車もしくは車両が道路を通行する人もしくは車両等と衝突、または接触した事故
	人身障害事故	列車または車両の運転により人の死傷を生じた事故(上記の事故に伴うものを除く)
輸送障害		鉄道運転事故以外で列車に遅れや遅延(30分以上)が発生した事態
インシデント		事故には至っていないが、鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態

2016年度の発生状況・行政指導等

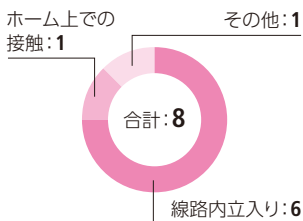
重大事故(衝突・脱線・火災)

2016年度は発生していません(最近5年間はありません)。

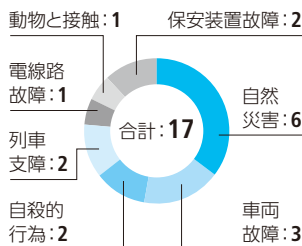
踏切障害事故



人身障害事故



輸送障害



行政指導等

2016年度、当社への行政指導はありませんでした。

インシデント

2016年度は1件発生し、近畿運輸局に報告しました。

1000系車両の台車に亀裂が発生

- 発生日時 2017年2月3日 15時頃
- 状況 1000系車両の定期検査中、台車に亀裂が生じていることを発見しました。亀裂は2台車に計3か所あり、長さはそれぞれ200mm、300mm、450mmでした。その後、同形式の台車も検査したところ、新たに5台車に計7か所の亀裂を発見しました。
- 原因 車両の走行時に発生した力が台車に繰り返し加わることで、台車の内部に亀裂が発生し、その亀裂が台車外面に向かって広がり表面に表れたものと推定しています。
- 対策 当該箇所の応急補強を行うとともに、専門家を交えて亀裂が発生した箇所に生じる力を測定しました。その結果、走行の安全性を損なうものではありませんでしたが、抜本的な補強を定期検査時に実施する予定です。



台車の亀裂発生場所



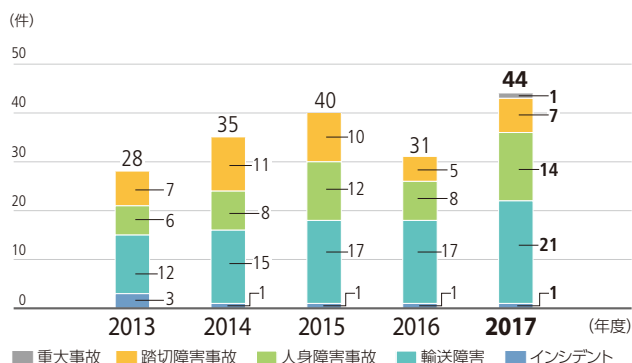
台車の亀裂発生場所

鉄道運転事故・輸送障害・インシデントの発生状況

最近5年間の発生状況

国土交通省へ報告することが定められている鉄道運転事故等の最近5年間の発生状況は、次の通りです。

5年間の事故の件数



〈参考〉鉄道運転事故等の分類

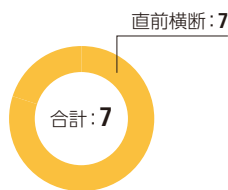
重大事故	列車衝突事故	列車が他の列車もしくは車両と衝突、または接触した事故
	列車脱線事故	列車が脱線した事故
	列車火災事故	列車に火災が生じた事故
踏切障害事故	踏切道において、列車もしくは車両が道路を通行する人もしくは車両等と衝突、または接触した事故	
人身障害事故	列車または車両の運転により人の死傷を生じた事故(上記の事故に伴うものを除く)	
輸送障害	鉄道運転事故以外で列車に運休や遅れ(30分以上)が発生した事態	
インシデント	事故には至っていないが、鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態	

2017年度の発生状況・行政指導等

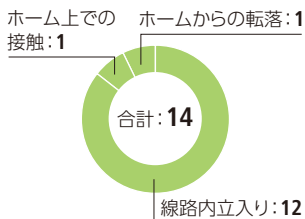
重大事故(衝突・脱線・火災)

台風21号の影響による列車脱線事故が1件発生しました。(詳細はP.31)

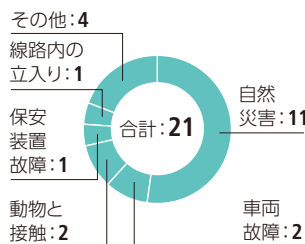
踏切障害事故



人身障害事故



輸送障害



行政指導等

2017年度、当社への行政指導はありませんでした。

インシデント

2017年度は1件発生し、近畿運輸局に報告しました。

50000系車両の台車にき裂が発生

(1) 発生日時

2017年11月6日16時頃

(2) 状況

50000系車両の点検中、台車にき裂が生じていることを発見しました。き裂は3台車計4か所あり、長さはそれぞれ175mm、65mm、40mm、38mmでした。

(3) 原因

車両の走行時に発生した力が台車に一部集中したことで、き裂が発生したものと推定しています。

(4) 対策

50000系全ての同一箇所にて非破壊検査を実施し、他の台車にはき裂がないことを確認しました。次回検査から当該箇所の非破壊検査を新たな検査項目に追加しました。



台車のき裂発生場所